

壮年会だより

<12月16日(日) 15名出席>

- 委員会報告(11月度) 委員会報告部分を参照
- 議案
 - ◆ 12月の聖書朗読: 1/6小野寺さん、1/27東原さん
 - ◆ クリスマスのケーキ: 壮年会で、今年は60個用意する(高齢者の方にも差し上げる)
 - ◆ 一粒会委員改選: 竹内さん
 - ◆ 平成14年度壮年会総会、新年会: 1月27日(日)、新年会は「藤よし」を予定、会費は3,000
- 自由議題
 - ◆ 湘南短期キリスト教セミナー: 参加された方の感想 若い人たちにもっと参加してもらおうと良かった。
 - ◆ 成人式: 該当者は3名 参加希望を確認し、1/13に実施予定
 - ◆ 青少年を考える会
若い人に任せていきたい山本(仁)さんに窓口となってもらい小野寺さんが後見役として、行っていく。
 - ◆ 泉区民クリスマス
12/22(土) 2:00~4:00 本番と同じプログラムで、練習を行う、誰でも自由に見られる。

お知らせ

成人式 1月13日

対象者は清尾真哉、島倉宏和、武田洋一の3名。
おめでとうございます。

信徒総会 1月20日 9時ミサ後

新年会 壮年会、婦人会とも1月27日



婦人会だより

<12月16日(日) 33名出席>

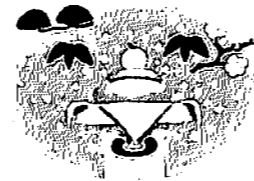
- 委員会報告(小山)「委員会だより」参照
- 「区民クリスマス」について (阿部)
いずみ中央駅前のキャロリングでのお手伝いの要請がありました。
- 婦人同志会より (阿部)
歌舞伎鑑賞会に多数の参加があったことに対し、感謝の言葉がありました。
- 一粒会より
七浦さんが任期満了となり、後任に下村昭子さんが就かれることが報告されました。
- クリスマスパーティーの件
話し合いの結果、今年はティーパーティー(ケーキと飲み物)とすることに決まりました。
- 婦人会関連
 1. 平成14年度の新役員さんが紹介されました。

会長	阿部寿美江
副会長	青柳 恵代
書記	上野 明子
会計	巢田 初恵
特別会計	太田 清子
典 礼	古田 久代
	森田チエ子
宣教委員	内藤 和子

 以上のみなさんです。よろしくお願いします。
 2. 今年度も特別会計から次のように寄付金を支出することが承認されました。

フマニタス	1万円
こころのともしび	1万円
いのちの電話	1万円
アッシュワール会(アフガニスタン難民救済)	2万円
 3. 平成14年度の総会新年会は、1月27日(日)、ミサの後開催されることになりました。
 4. 来年度の「掃除当番表」と「新年会申し込み」が掲示されますので、お書き込みください。

次回例会は12月27日(日)、次回当番はA地区です。



広報 なかわだ

第276号

1月の予定

成人式	1月 13日
委員会	1月 6日
壮年会、婦人会	1月 27日
サロン	1月 13,27日
レジオ	1月 11,18,25日

2002年1月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成14年1月6日



この頃のこと ③

山崎 正俊



大昔に、正月元旦の京都の街の真ん中を、一人の禅僧が威張って長めのツエをついて歩いていました。そのツエの先にはドクロが刺してあります。この日は誰もがいっせいに年を取らねばならないのです。新しい年度の計をたてるメデタイ日、人生の旅路の一里塚にも当たります。それは死に向かつて一年ほど近づいたこと、喜んでおられるばかりの日でもあるまいに。「めでたくもあり、めでたくもなし」で、エンギでもない。すぐになっとくできて、有難い「聖人伝」か、ちょっとした気休めの笑い話の程度。

私が大事にしているけれども、その家庭の中に、妻子と自分の考えとに違いすぎることもあるから、最後の息(イキ)を引き取りにくい気がするので、だまって末娘と家出をした老人がいました。幼い日に、その兄から、すばらしい幸福の「緑のツエ」がかくされていると教えられたその森に墓を造ってほしいと遺言していたので、その旅先で死んだら、その森の住人としておさめられました。

キリストさまの教えだと信じていた事と、その当時の教会での説明とがあまり別のものになっていると、声をあげすぎたので、国の宗教として保護されていた教会から追い出されていたので、その葬儀は近所の親友たちの手ですまされ、地獄に落とされる者として見捨てられたのです。あまり有名になり、実は、今も、その墓はたいせつに守られているほどなので、教会のほうから反省され、仲直りしようかという提案があったのですが、それは承知できないこと。この老人を忘れきれない人たちが世界のあちこちから、そこに巡礼することが続いているほどです。それで私も、そこにお参りなさる親しくしている人をお願いして、お墓のそばの砂を記念に持ち帰っていただき、部屋の書棚に置いて、北御門(キタミカド)先生御夫妻の写真を新聞から複写していただいたものと飾っています。

洗礼は、カトリック教会から、昭和12年の秋に受けて、熱心(?)に守っておるつもりですが、それで差別されることもなく、この頃も、トルストイのいくらかの著作は「私の宝物」です。1993年1月1日の「神の母聖マリアの大祝日」と思っている日に、いまのヨハネパウロⅡ世の「平和のための御手紙」を、ミサの説教の場で読み、これも私の宝物なのです。以前から、神学校で倫理神学(リンリシシガク)の教授であった神父様の小論、勿論、北御門先生の訳書も、先輩の磯谷、福田、石田さんらの誠実さに支えられて、レフトルストイ狂徒になり、笠島さんの聖パウラモンタル信徒にも加わったりしている。何と云われようと、時宗の一遍上人の単純さにも近付いている。モーツアルトさんの「レクイエム」には、おあこがれするわけがあり、その思いをたよりにしています。

(2001. 12. 15)

バザー決算報告

予算を上回る収益を達成出来ました。皆様の御協力有難うございました。

決算概要

収入	バザー抽選券	234,000
	婦人会収益	327,647
	壮年会収益	63,487
	【収入計】	625,134 ①
支出	景品代	42,715
	食器、雑貨ほか	22,703
	謝礼	1,450
	【支出計】	66,868 ②
	バザー収益 (=①-②)	55,8266 ③
	その他収益(聖母の園、信者)	60,000 ④
	収益計 (=③+④)	618,266 ⑤
	寄付金(婦人同志会、アフガン難民)	50,000 ⑥
	(注:アフガン難民についてはカリタス経由で送る)	
	バザー収益合計 (=⑤-⑥)	568,266

収益金より、建設会計に40万円組入れます。

バザー実行委員会

公 示

カトリック中和田教会運営規準により
信徒総会の開催をお知らせ致します。

日時 二〇〇二年一月二十日 九時ミサ後
場所 聖堂

二〇〇二年一月六日
教会委員長 花坂 洋一

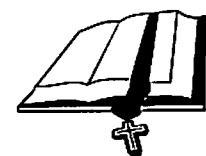
第10回典礼研修会

標記研修会が、去る10月7日鎌倉の雪の下教会で開催され、三つの分科会(「聖書朗読」「詩篇歌唱」「共同祈願」)に分れて、研修が行なわれました。各分科会の内容を3回に分けて報告して頂きます。

その2:「聖書朗読」分科会より

— レジュメをもとに —

位田 裕子



典礼における様々な役割の中で、ことばによる典礼奉仕としての「聖書朗読」があります。

ミサの開祭の結びに集会祈願が唱えられ、一同が静かに着席すると、「ことばの典礼」が始まります。ことばの典礼の中心は、いうまでもなく「聖書朗読」です。

教会は、ミサをはじめとして様々な典礼の中で聖書が朗読されることを、最も重要なことの一つと考えてきました。それは、教会で聖書が読まれるとき、キリスト自身が私たちに語りかけ、救いのことばを告げているからにほかなりません(『典礼憲章』7)。聖書朗読を中心に構成されることばの典礼は「神のことばの食卓」ともよばれ、キリスト者はこの食卓をとおして霊的に養われ、教え導かれます(『ミサの聖書朗読指針』10)。神のことばが朗読される時、「信仰の力、魂の糧、霊的生命の清く尽きない泉」(『啓示憲章』21)として一人ひとりのうちに響きわたるのです。

これらのことから、「聖書朗読」について必要なことは、朗読台、朗読聖書、そして朗読の仕方と言えます。

1. 朗読台

朗読台は、「神のことばの食卓」とも考えられることばの典礼の間の中心となる場なのです。したがって、会衆の注意が自然に向けられ、朗読者の姿が会衆席からよく見え、そこから告げられることばがはっきり聞き取れるよう、それぞれの聖堂の構造に応じて相応しい場所が選ばれることが大切です。当然のことながら、マイクの設置、音量にも気を配る必要があります。

2. 朗読聖書

朗読聖書は、ミサに集まった人々に語りかける神が、共にいてくださることを思い起こさせるシンボルにもなっています。したがって大切に扱われなければなりません。

3. 朗読の仕方

聖書を朗読することは、すべてのキリスト者の大切な務めの一つです。書き記された「神のことば」を人前で朗読することは、そのこと自体が神のことばを宣べ伝えることです。神のことばは自らの力で伝わっていくものですが、神はそのために「人間の奉仕」を望んでおられます。聖書朗読の準備として、朗読個所全体の意味をよく考えながら、しかも一言一句を吟味して予め読んでおく必要があります。自分が正しく理解し、確信をもって朗読できるように祈りながら準備することが大切です。

さらにこのことから、「預言書」と「使徒たちの手紙」とでは、読み方が自ずと異なるはずで

朗読の当番に限らず、キリスト者は日々聖書に親しみ、生き生きとした心を養うように心がけなければなりません。これには「毎日のミサ」とか「聖書と典礼」はとても役にたつでしょう。

朗読者は「主のことば」を告げ、会衆はしっかりと聴いて信仰を深め、これをとおして共同体の「交わり」と「一致」を強めることが、「ことばの典礼」に求められているのではないのでしょうか。

ミサ 当番表 (2002年 1月, 2月)

月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主 日	朗読、奉納	オルガン
1/6	主の公現	壮年会	保科	2/3	年間第四主日	壮年会	岩 淵
1/13	主の洗礼	青年会	岩 淵	2/10	年間第五主日	青年会	森 田
1/20	年間第二主日	婦人会A地区	森 田	2/17	四旬節第一主日	婦人会B地区	美 底
1/27	年間第三主日	壮年会	美 底	2/24	四旬節第二主日	壮年会	岩 淵

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏:TEL 802-6258)迄お申し出下さい。

新春二十句

田丸成雄

初富士や住み古りし元富士見村
縄文の丘に終の家初菫
あらたまの恩寵米寿賜はりぬ
去年(こぞ)今年万歩重ねて駄馬老いず
初寅や背を立てて行く神楽坂
苦き夜の暖炉甘美のエスプレソ
寅さんの恋に温もる霜の夜
妻テレジア彼方に待てり冬銀河
瘡蓋を塗り血が噴く寒の月
揺り椅子やテレジアの影毛系編む
いつか妻と見し虎鶴庭を遊ぶ
六本足で行く老夫婦小春の日
冬鷗舞へり一老バン投げて
子産石(こうみいし)に祈る二人や石路の花
潮騒の路地行止り石路咲けり
石路咲ける岬に昔馬車の音
花林家を守ると植木職
沖眺めつくして漁師着ぶくるる
この川の源流見たし水澄める
乙が影静かに曳けり寒の鯉



委員会だより

<12月2日(日) 10名出席>

〔1〕財務報告: 01年11月度決算報告 ()内: 01年度年間予算

	01°収入累計	01°支出累計	収支差額
一般会計	5,785,989 (6,073,380)	4,633,035 (5,297,000)	1,152,954 (776,380)
建設会計	1,756,570 (1,876,674)	555,050 (1,817,000)	1,201,520 (59,674)
愛の献金	652,538 (617,864)	286,249 (320,000)	366,289 (297,864)
信徒会計	929,828 (744,520)	132,698 (510,000)	797,130 (234,520)

>特記事項:

- ◆一般会計:
 - バザー準備金200,000円を一般会計に戻した。
 - 山崎神父様、信徒の方よりそれぞれ特別献金60,000円、37,000円を頂いた。
 - 布教強化費として、セミナー分担金30,000円を支出。
- ◆建設会計:
 - 設備費として、ウォッシュレット、電話機(ファックス)で各々35,000円、31,500円を支出。
- ◆信徒会計: バザー関連後述。

〔2〕議事内容:

- ◆バザー決算報告:
 - ◆今年度予算を上回る収益を達成出来た。有難うございました。(決算概要は別頁参照)
 - ◆収益金より、建設会計に40万円入れる。
- ◆クリスマス関連:
 - ◆12月24日のクリスマスミサは上杉神父様をお願いする。
- ◆大掃除は12月14日(土)10:00amより行う。(壮婦の電話連絡網で連絡)
- ◆飾り付け: 七浦さんが馬小屋を新しく作ってくださった。飾り付け自体は、12月2日に青年会、子供たちで済ませている。
- ◆ミサ後のパーティはティーパーティー形式とする。神父様のお食事は、台所の方にお任せする。
- ◆区民クリスマス祭関連:
 - ◆朝日新聞の地区版情報誌(アップルフレンズ)およびカトリック新聞(12/2)に掲載された。
 - ◆12月11日に中和田教会にて、担当者総合打合せが行われる。出演者も出席され、中和田からは小谷さんが出席される。
- ◆中和田教会からは
 - 受付: 位田、青柳、小山(恭)
 - 会場: 竹内、福島の皆さんが参画される。
- ◆整理券が不足しており、本番の方は一般の方に観て頂きたいので、信者の方は出来るだけ午後2時からのゲネプロを観て頂くよう協力をお願いします。
- ◆新一粒会委員のご紹介:
 - ◆現委員の任期満了に伴い、次期委員には竹内廣治氏、下村昭子さんのお二人が就任されます。
- ◆平成14年度信徒総会の件:
 - ◆平成14年1月20日(第3日曜日)に開催する。
 - ◆平成14年度予算案は、11月25日に提出済。尚、1月度教会委員会は、1月6日に開催する。
- ◆平成14年度成人式:
 - ◆成人式該当者は、清尾真哉、島倉宏和、武田洋一の3名。
 - ◆成人式は、1月13日(日)に挙げる。
- ◆教会委員改選の件:
 - ◆今回は「なし」としたいとの山崎神父様ご意向。